

市議会9月定例会

「自転車の放置防止に関する条例」の 改正などを可決



「秋景」 平塚市総合公園 日本庭園

撮影 小崎 敬司さん / 第42回湘南ひらつか観光風景写真コンクール入選作品

平塚市議会は、8月26日から9月21日まで27日間の会期で9月定例会を開催しました。

今定例会では、平成22年度一般会計・特別会計および病院事業決算、「平塚市自転車の放置防止に関する条例」の改正、小児医療費の助成対象年齢の拡大など30議案が市長から提案されました。このうち、平成22年度決算にかかる議案については特別委員会を設置し、継続して審査することとしました。そのほか、報告案件を除く23議案について、審議の結果原案どおり可決しました。

また、議員提出による会議案として「福島第一原子力発電所事故の早期収束および再生可能エネルギー普及への取り組み等の強化を求める意見書」など4案件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
※議案と審議結果を8面に掲載しています。

放置自転車対策を強化 保管等にかかる費用の徴収も

自転車の放置の防止により良好な生活環境を保持することなどを目的とする「平塚市自転車の放置防止に関する条例」の改正が市長から提案されました。

今回の改正では、条例の措置対象に原動機付自転車を加えるとともに、放置自転車の移動・保管等にかかる費用として自転車は2000円、原動機付自転車は4000円を徴収することとしました。また、条例の目的として歩行者等の安全な通行や、自転車等の駐車秩序を明確化するとともに、まちの美観を保つこと、地球環境に配慮した自転車の利用促進などを加えました。

そのほか、交通法規の遵

改正などを可決

められました。

▼平塚市庁舎・平塚税務署
新築工事(庁舎棟・建築)
契約額 69億5940万円

▼平塚市庁舎・平塚税務署
新築工事(庁舎棟・電気)
契約額 13億4400万円

▼平塚市庁舎・平塚税務署
新築工事(庁舎棟・機械)
契約額 22億3650万円

▼平塚市庁舎・平塚税務署
新築工事(庁舎棟・機械)
契約額 22億3650万円

監査委員等の 選任に同意

市の事務や経理を監査する監査委員に、議会から出縄喜文議員を選任する議案が提案され、全員異議なく適任者として同意しました。

また、公平委員会委員に高梨利夫氏(宮松町)、固定資産評価審査委員会委員に篠塚三郎氏(袖ヶ浜)を選任する議案が提案され、両氏とも適任者として同意しました。

防災対策費などを補正 一般会計補正予算

今定例会で提案された一般会計補正予算のうち、防災対策関連では、自治会や公共施設に防災行政無線を受信できる防災行政ラジオを配付するための費用や、津波避難ビルを示すステッカーの作製費用など約



▲「津波避難ビル」はこの表示が目印に

1000万円が計上されました。また、太陽光発電システムを設置補助金や放課後児童クラブへのAEDの設置費用が措置されました。一方、消防署大野出張所や消防訓練施設の工事延期に伴い工事費が減額されたことから、今回の補正は全体で1億113万1000円の減額となり、平成23年度一般会計予算は80億3361万5000円となりました。

